

山火事の原因

4月は山林周辺での農作業が始まり、山菜採りなど山林への出入りが多くなる時期です。特に、りんごの剪定した枝を燃やしたり、害虫駆除のために水田周辺のおぜ道を野焼きするなど、火を扱う作業が増えます。森林は木材生産だけではなく、水を蓄えたり、山崩れを防いでくれる緑の宝です。

森林は雨をしみこませ、ゆっくりと川に流し出します。森の木々たちはしっかりと土の中に根をはり、土を抱え込んでくれています。安全で住みよい「ふるさと青森」を創っていくためには、県土面積の66%を占める森林を守っていく必要があります。



山火事は貴重な森林を一瞬のうちに焼失させる災害です

山火事の怖さ

火の粉が飛散し同時多発的に着火延焼すること、延焼スピードが速いこと、消火活動が困難なことなどが挙げられます。

山火事は延焼しやすく消火しにくい火災であり、大規模な火災に発展して地域社会に甚大な影響を与えることから、山火事を発生させないことが最も大切です。

山火事発生の原因

中南管内(過去5ヵ年)では、たき火の不始末が原因の約75%を占めています。これにその他の人為的原因約6%を加えると、実に約81%が人が関与した結果によると言えます。

山火事の多くが、ちょっとした火の取り扱いの不注意により発生していることから、次のことを守ってください。

1. 枯草などのある火災が起こりやすい場所では絶対たき火はしない。
2. たき火や野焼きをするときは周囲にも知らせ、一人で行わない。
3. 風が強いとき、空気が乾燥しているときには、たき火や野焼きはしない。
4. たばこ火は必ず消し、絶対投げ捨てない。
5. 火遊びはしない。